

当該工事に係る変更箇所整理表

資料番号	表題	頁	図表題	備考
1	原子炉冷却系統施設の配管の耐震計算書 1. 原子炉冷却系統施設の配管	T2-添13-17-3-24-91	第1.4-25表 質点質量	本項においては、原子炉冷却系統施設の配管の耐震評価として、代表ブロックの耐震評価を記載しており、そのうち、余熱除去設備配管の代表ブロックとして、申請対象弁を含むブロックRH08の評価モデル、評価結果等の記載がある。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、評価モデル、評価結果等の記載が変更となる。
2		T2-添13-17-3-24-129	第1.4-38表 固有値	
3		T2-添13-17-3-24-130～132	第1.4-14図 振動モード図	
4		T2-添13-17-3-24-151	第1.5-1表 基準地震動Ssによる評価結果 (2/2)	
5		T2-添13-17-3-24-156	第1.5-4表 評価用地震動による評価結果 (2/2)	
6	13-17-3-24 原子炉冷却系統施設の配管の耐震計算書 2. 原子炉冷却系統施設の配管のうち 原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大範囲	T2-添13-17-3-24-172	第2.4-10表 質点質量 (2/2)	本項においては、新規基準により原子炉冷却材圧力バウンダリが拡大 (RHR入口ラインの第一隔離弁～第二隔離弁) され、その範囲の耐震評価を記載している。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、評価モデル、評価結果等の記載が変更となる。
7		T2-添13-17-3-24-178	第2.4-12表 質点質量 (2/2)	
8		T2-添13-17-3-24-179	第2.4-13表 固有値表	
9		T2-添13-17-3-24-180～182	第2.4-3～5図 振動モード図	
10		T2-添13-17-3-24-183	第2.4-14表 固有値表	
11		T2-添13-17-3-24-184～186	第2.4-6～8図 振動モード図	
12		T2-添13-17-3-24-189	第2.5-2表 ブロック② 管の応力計算結果 (D+P+M+Ss)	
13		T2-添13-17-3-24-191	第2.5-4表 ブロック② 管の応力計算結果 (D+P+M+Sd)	
14		T2-添13-17-3-24-192,193	第2.5-5表 解析範囲における最大発生応力の評価	
15	T2-添13-17-3-24-196	第2.5-7表 ブロック② 管の応力計算結果 (D+P+M+Ss)		
16	13-17-3-25 原子炉冷却系統施設の配管支持構造物の強度及び耐震性に関する説明書 2. 原子炉冷却系統施設の配管支持構造物のうち 原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大範囲	T2-添13-17-3-25-25	第2.4-1表 支持構造物の種別と最大発生荷重及び定格荷重の比較	本項においては、新規基準により原子炉冷却材圧力バウンダリが拡大 (RHR入口ラインの第一隔離弁～第二隔離弁) され、その範囲に設置される支持装置の強度及び耐震評価を記載している。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、一部の支持構造物の最大発生荷重、評価結果の記載が変更となる。
17		T2-添13-17-3-25-27	第2.4-3,4表 支持構造物の種別と最大発生荷重及び定格荷重の比較	
18		T2-添13-17-3-25-30	第2.4-9,10表 サドルの最大発生荷重	
19		T2-添13-17-3-25-32	第2.4-13表 ラグの最大発生荷重	
20		T2-添13-17-3-25-37	第2.5-4表 ラグ 強度及び耐震計算結果	
21	13-17-3-26 原子炉冷却系統施設の弁の耐震計算書 2. 原子炉冷却系統施設の配管支持構造物のうち 原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大範囲	T2-添13-17-3-26-10/E	第2.5-2表 評価結果	本項においては、新規基準により原子炉冷却材圧力バウンダリが拡大 (RHR入口ラインの第一隔離弁～第二隔離弁) され、その範囲に設置される動的機能維持が要求される弁の機能維持評価を記載している。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、配管反力の記載が変更となる。
22	14-3-1 クラス1 管の強度計算書	T2-添14-3-1-16	第1-2表 ブロック① 質点質量	本項においては、新規基準により原子炉冷却材圧力バウンダリが拡大 (RHR入口ラインの第一隔離弁～第二隔離弁) され、その範囲の強度評価を記載している。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、評価モデル、評価結果の記載が変更となる。
23		T2-添14-3-1-17	第1-3表 ブロック① 管の応力計算結果 (JSME PPB-3500)	
24		T2-添14-3-1-21	第1-5表 ブロック② 質点質量	
25		T2-添14-3-1-22	第1-6表 ブロック② 管の応力計算結果 (JSME PPB-3500)	
26	14-3-2 クラス1 弁の強度計算書	T2-添14-3-2-6	弁体の応力計算	本項においては、新規基準により原子炉冷却材圧力バウンダリが拡大 (RHR入口ラインの第一隔離弁～第二隔離弁) され、その範囲のクラス1 弁の強度評価を記載している。 今回の申請に合わせ、弁体の取替実績反映として、弁体の材質を変更する (弁体の材料 <input type="text"/> に変更)。
27	14-3-10 重大事故等クラス2 管の強度計算書 2. 原子炉冷却系統施設の重大事故等クラス2 管の強度計算書	T2-添14-3-10-74	第1.3-9表 ブロック③ 質点質量	本項においては、原子炉冷却系統施設のSAクラス2 管の強度評価として、代表ブロックの強度評価を記載しており、そのうち、余熱除去設備配管の代表ブロックとして、申請対象弁を含むブロックRH08の評価モデル、評価結果等の記載がある。 今回の申請により、弁ふたの重量が変更となることから、評価モデルの記載が変更となる。